

4

■緑の山にオオルリの歌が響く

こくぞう 虚空蔵山 (岩船・朝日村)

■環境：山地
■対象：一般
■期間：5月上旬～
6月下旬

虚空蔵山は豊かな自然に恵まれ、四季を通して多くの野鳥が観察されている。山頂の虚空蔵グリーンパークには野鳥の森が設けられている。交通の便もよく、鳥のさえずりを間近に感じることができる。

〈新緑に歌う小鳥たち〉

朝日連峰がまだ白銀に輝く4月、虚空蔵山は、残雪のうちに樹木の若葉も小鳥の歌声も日ごとに春めいてくる。

道は山頂直下まで車が入るほど良く整備されている。登りはじめて、まず足を止めさせられるのは、ミソサザイのさえずりである。薄暗い杉林の沢でしきりにさえずっている。奥深い山中の繁殖地へ移る途中、里山で鳴きはじめてのたのらう。

しばらく登ると視界が開け、淡い新緑の山々が見渡せる。耳を澄ますと、山肌の広葉樹の茂みから、コルリやコマドリのさえずりが聞こえてくる。亜高山帯へ向かう道すがらの夏鳥たちである。車道の終点を過ぎると、頂上の「奥の院」までは細い尾根道になる。尾根の両側には芽生えはじめたブナやコナラの林が続き、風によってゴジュウカラのさえずり

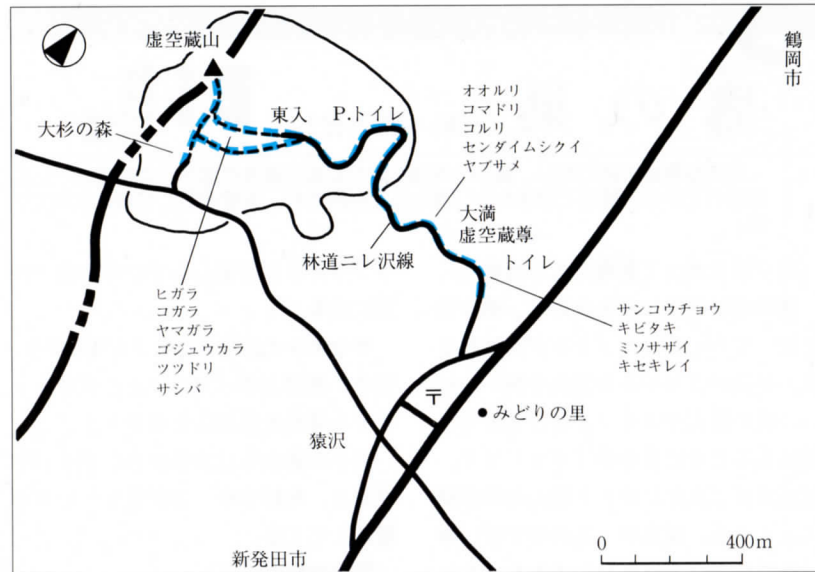
が流れてくる。ヤマガラ、ヒガラ、コガラなどの群れも木々の間を渡ってくだらう。

〈競いあってさえずる初夏の鳥〉

鳥たちが一番生命を輝かせる季節、深緑に覆われた早朝の虚空蔵山を訪ねてみよう。うっそうとした杉木立の「大満虚空蔵尊」拝殿前でしばらく立ち止まっていると、「月日星ホイホイ」と木々の枝を移っていくサンコウチョウの音が聞こえてくる。時には、長い尾を揺らして飛ぶ美しい姿を目の前で見せてくれるだらう。杉林の向こうの広葉樹の茂みでは、キビタキが鳴き続け



虚空蔵大池周辺



ている。

登りはじめると、適当な間隔を置いてオオルリのさえずりが聞こえてくる。沢沿いの道では、こずえの先のソングポストで無心に鳴くその姿を目の高さに、時には見下ろすようにスコープの視野に収めることができる。若葉が風にそよぐ山側の木立からはセンダイムシクイのさえずりが降るように響き、沢の茂みではウグイスが歌い、ヤブサメが密かに鳴いている。

山の中腹にかかる、開けた初夏の空にサシバやハチクマが舞い飛び、尾根道では、イカルが朗らかに歌い、ツツドリの声が風によって聞こえてくるだらう。

(大滝清二)

メモ

交通 JR村上駅から塩野町行きのバスに乗り、猿沢で下車。徒歩30分で入り口。大満虚空蔵尊拝殿まで徒歩5分。車なら国道7号線沿い朝日村猿沢から入る。

☐ 登り口、虚空蔵尊拝殿の手前30mに10台程度駐車可能。

林道ニレ沢線の終点。

虚空蔵グリーンパーク東入り口駐車場

探鳥会 村上保健所主催、村上野鳥の会後援の探鳥会が5月中旬にある。

問い合わせ：村上保健所

☎0254-53-3151